

秋田八郎潟「おかえり八郎太郎物語」

秋田・八郎潟の未来に向けてみんなで語りつづ おかえり八郎太郎物語

みんなで
つくる！



1 八郎潟には昔、大きな竜が住んでいました。

むかしむかし、八郎潟という大きな湖に、『八郎太郎』という心の優しい竜が住んでいました。ところが潟が干拓され、随分と小さくなってしまいました。「八郎太郎はなんとしたべか」みんな心配しました。

2 潟は水が汚れ、竜がいなくなっていました。

その後、潟の水が汚れ始め、ますます竜の姿を見ることが難しくなっていました。そして、多くの人達が竜のことを忘れていってしまいました。



3 人々は大切なことを忘れていたことに気づきました。

「このままではいけね、自分達のふるさとの潟を守っていかねばねえな。」その時、ふと八郎太郎のことを思い出しました。そして本当に大切なことを忘れていたことに気が付きました。「八郎太郎ー！帰って来てくれー！」



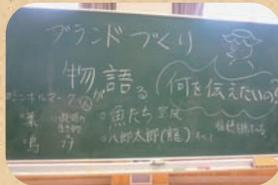
4 もう一度物語を作ろう！今度は竜が湖に帰ってくる物語を。

竜を呼び戻すには、子ども達の夢や想像力が必要です。だから、もう一度物語を作ろう！竜が帰ってくる物語を。潟に竜がいた時の物語は「八郎太郎物語」。これからみんなで作るのは、竜が潟に帰ってくる物語「おかえり八郎太郎物語」です。



5 子どもたちは「物」が「語」り出す魔法を見つけました。

子どもたちは、宝物を探し出しました。それは潟でみんなを見守ってくれていた心の優しい竜でした。子ども達は竜と一緒に、大人たちが忘れていた多くの宝物や地域のつながりを見つけられました。そして、潟とのつながりを取り戻した「物」が「語」り出す魔法を見つけます。物が語り出す！そう、物語の始まりです。



潟上市大久保小学校（現・大豊小）の子ども達は、総合学習の時間に何度も話し合い、新しい八郎太郎物語を作り始めました。そして、魔法のシールも。

6 物語が広がり人々が動き出しました。

新しい物語が潟のまわりに広がり、魔法の力で人々が動き出しました。田、湖、水や生きもの、今まで忘れていた様々なつながりが再び見えてきました。そして、つながりが潟も人も元気にしてくれることに気が付きました。



7 物語はどんどん広がります。

新しい物語はどんどん広がり、漁師や佃煮屋も動き出しました。人々に昔の潟の様子を伝えはじめたのです。子どもと大人が一緒になって潟の岸辺に竜や生き物が喜ぶ昔の水草を植えはじめました。



8 物語はさらに広がり、たくさん人の心を動かしました。

新しい八郎太郎物語は街にも広がり始めました。子ども達の魔法のマークがついたお米や野菜、佃煮が、お店に並び始めました。すると、そこから新しいつながりが生まれ、地域や世代をこえてつながりが次々と広がっていきました。潟をめぐる、たくさんの人々の心の中に眠っていた竜が動き出したのです。



9 この物語はどこまでも続きます。

この物語はどこまでも続きます。みんなの未来に向かって！いつの日かきっと、潟にたくさん生きものが戻り、周りの人々にはたくさん笑顔が溢れるようになるでしょう。そして、「おかえり八郎太郎！」とみんなが言える日が来るでしょう。



10 あなたが物語の中の登場人物、作り手です。

これはまだ夢物語です。でも、もう新しい八郎太郎物語は始まっています。子どもも大人も、みんながこの物語の登場人物です。そして心の中の竜が動き出したら！もう、あなたも物語の中の登場人物、そして作り手なのです。とっぴんばらりのぷう。



→ 詳しい「おかえり八郎太郎物語」はWEBでもご覧いただけます！ <http://p.tl/HkCy/>

ご質問などございましたら……

おかえり八郎太郎プロジェクト（事務局アサザ基金）
担当：太田あづさ まで
TEL:029-891-9166 / MAIL:info@nos.net



地元の小学生がデザインしたシンボルマークです



マルシェ出店者map

～秋田 八郎潟～

「竜のなかま」をご紹介します！
新しい八郎太郎物語の登場人物です

「豆茶(青・黄・黒・ブレンド)」

男鹿市
五里合

寒風山ふもとの琴川という小さな集落に
こひい工房 珈音はあります。滝の頭
の湧き水が生活を支えている水と空気の
きれいなところで、おいしいコーヒーや
大潟村の有機豆を焙煎した豆茶づくりを
に取り組んでいます。

問い合わせ・購入したい時の連絡先
Tel: 0185-34-2470
HP: <http://www.kanon-coffee.com/>

こひい工房 珈音 佐藤さん

「梨」「梨の缶詰」

男鹿市
五里合

五里合の中石(ちゅういし)という集落で
「男鹿梨」の生産に取り組む地元の女性の
グループです。秋田の厳しい自然とともに
育った男鹿の梨は水々しくて甘みが強いと
言われています。男鹿梨をもっと多くの方
に知っていただくPRの1つとして缶詰づ
くりにも取り組んでいます。

問い合わせ・購入したい時の連絡先
Tel: 0185-34-2210
(代表藤原妙子さん)

梨フレッシュレディー' S 渡部さん

「滝の頭クレソン」

男鹿市
五里合

鮎(しび)川は、男鹿の寒風山からの豊かな湧き水
「滝の頭」の恵みを受け、守り、ともに歩んできた
集落です。しかし、高齢化などの問題を抱えています。
鮎川が元気であり続けるためには、遠くから人を呼び
込める特産が必要です。鮎川ではこの豊かな「水」
から新しい価値を生み出すべく、新たなチャレンジと
して「滝の頭クレソン」の栽培・販売がスタートし
ました。無農薬無肥料で育てたクレソンです。

問い合わせ・購入したい時の連絡先
Tel: 090-5595-4911
HP: <http://shibikawa.com/>

鮎(しび)川自治会 成田さん

「野菜」

大潟村

松橋ファームは大潟村で家族経営の農業を営む農
家です。大潟村に入植してから40年経ち、現在は
2代目となりました。お米や野菜の生産を行い、
お客様への直接販売も行っております。農業生産
やその他の取り組みを通して皆様の「楽しい食卓」
の少しでもお手伝いが出来たら幸いです。

問い合わせ・購入したい時の連絡先
Tel: 090-2400-0831
HP: <http://matsuhashifarm.com/>

松橋ファーム 松橋さん

潟上市
飯田川



Farmgarden黄昏 菊地さん

「不耕起栽培あきたこまち」

はじめまして。わたしたちは秋田県中央部、
潟上市というまちで、農業や化学肥料に頼
らない稲づくり、野菜づくりをしています。
母なる地球を身近で感じ、太陽とともに暮
らす時間を大切にしています。「耕さない
たんぼ」のいきものいっぱいのお米で実
った力強くおいしいお米です。

問い合わせ・購入したい時の連絡先
Tel: 018-877-6306
HP: <http://farmgarden.jimdo.com/>

「あきたこまち」

潟上市
山田



草木谷を守る会 石川さん

草木谷は、秋田の老農・石川理紀之助翁ゆかり
の八郎潟の水源地(谷津田)です。流域に増え
続ける耕作放棄地を再生し、なるべく無農薬無
化学肥料でお米づくりをすることで、八郎潟に
きれいな水を送る活動をしています。収穫した
お米で地元の酒蔵で「草木谷」という日本酒も
作っています。今年から集落の活性化をめざし、
集落で作られたお米を「草木谷米」というブラン
ドの名前で販売していくことにも挑戦します。
問い合わせ・購入したい時の連絡先
Tel: 090-2844-2323
HP: <http://www.facebook.com/kusakidani/>



八郎湖のまわりには、まだまだご紹介したい
こだわりの美味しいものがたくさんあります!

佐藤食品「磯のり白魚」

「本当に美味しいものを作りたい！」そんな想いから
生まれました。刺身でも食べられる新鮮な秋田県八郎
潟の白魚をカラッと唐揚げに。鮮やかなのりの黒さ、
そして韓国えごま油の香りがたまらない一品です。
<http://www.satousyokuhin.co.jp/>

佐藤徳太郎商店「カリン子わかさぎ」

油で揚げたわかさぎを炭火で3~4時間かけてじっくり
焼いた後、たれで炊いた、カリッとした食感の佃煮
です。手間と時間をおさないこだわりの味です。
<http://maruto-e.co.jp/>



今回商品に貼ってあるシンボルマークは、2009年
に八郎潟流域の潟上市大久保小学校(現・大豊小)
4年生70名全員が学習や話し合いを重ねながら作成
したものです。八郎潟に竜を呼び戻すには為には、
潟の再生につながる物作りが
大切だと気付いた子ども達は、
環境を大切に思う人達が作った農水産物や加
工品等を普及させるために、このシンボルマ
ークを作成して地域の大人達に協力を呼びか
ける活動を始めました。

